



地元の魅力を知ろう！



職人の技と郷土の味が
盛岡手づくり村に大集合！

盛岡広域・盛岡手づくり村 秋まつり2017

盛岡広域の郷土色豊かな食を集めた
屋台や多彩な技を集めた工芸品フェア
など盛りだくさん！ 入場無料です。

【日時】10月7日(土)～9日(月)、9時～16時
【場所】盛岡手づくり村(繁字尾入野)
【問】盛岡地域地場産業振興センター ☎689-2201
【広報 I D】1020936

イベント内容

- ▶盛岡広域の食と工芸フェア
- ▶お買い上げ感謝抽選会
- ▶郷土芸能披露



お買い上げ感謝抽
選会へ地場産品が
当たるチャンス

ナンブ・
ジェラリーノくん

模擬せり市で熱い掛け合い
を体験しよう！

もりおか市場まつり

生鮮食料品流通の要である市中央卸売市場。
この機会に見て、体験して、市場を身近に感じ
てみませんか。

【日時】10月8日(日)9時～14時
【場所】中央卸売市場(羽場10)
【問】同市場業務課 ☎614-1000
【広報 I D】1020850

イベント内容

- ▶模擬せり市
- ▶マグロの解体実演
- ▶フリーマーケット
- ▶生鮮市・食品市・花き市
- ▶屋台村
- ▶復興応援ブース など

会場と都南バスターミナ
ル(津志田西二)、J R
岩手飯岡駅を結ぶ無料シ
ャトルバスを運行！



今年は盛岡と沖縄のうらま
を同時に楽しめる！

盛岡市産業まつり

蜂蜜やりんご、染め物など盛岡の優れた食品や工
芸品などを展示販売します。

【日時】10月12日(木)～17日(火)、10時～19時
※17日は17時まで
【場所】パルクアベニューカワトク(菜園一)
【問】市産業まつり実行委員会 ☎626-7538
【広報 I D】1020860

お楽しみ袋の販売

【日時】10月12日(木)10時～
【内容】3000円相当の食品を詰
め合わせにしたお楽しみ袋を1袋
1000円で販売。先着200個限定！



うま市・盛岡市 友好都市提携5周年記念企画

▶「盛岡 沖縄三線倶楽部」による演奏
【日時】10月14日(土)
11時～と14時～
▶泡盛の販売

手仕事・職人の技特集

- ▶南部鉄器など伝統工芸品の入礼会
- ▶手仕事体験教室
 - ・まゆクラフト体験
 - ・くるみぼたん製作
 - ・マーブルアート製作
 - ・銀のアクセサリ磨き体験(銀製品は持参)
- ▶浄法寺塗の実演販売

期間中
毎日開催！



海野経展 「無意無得」

芸術の秋！

美術教育に尽力しながら、精力的に
創作活動を続けた市出身の画家・海野
経の作品を展示。優しさに満ちた作品
を、ノスタルジックなもりおか町家物
語館(鉾屋町)で鑑賞
しませんか。

【日時】10月1日(日)
～31日(火)、9時～19
時※最終入場は18時
半まで
【費用】無料
【問】同館 ☎654-
2911



作品の素描

南部鉄器青年展 「Ironthology」

若き職人の
熱い思い

市内にある南部鉄器工房の若手職人ら
が若者ならではの感性で作った作品を展
示するほか、南部鉄器の歴史をパネルで
紹介します。

【日時】10月15日(日)～11月4日(土)
9時～19時※4日は16時まで
【場所】もりおか歴史文化館(内丸)
【費用】無料
【問】南部鉄器協同組合内、南部鉄器
まつり実行委員会 ☎689-2336



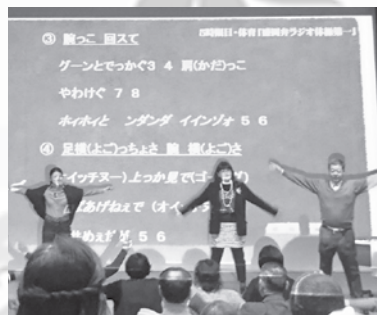
職人が作品を解説！
作品へ懸ける情熱を
ぜひお聞かせください
【日時】10月22日(日)
14時～

おでって 盛岡弁予備校

あでって
くなんせ！

盛岡弁のラジオ体操や方言替え歌などで、
盛岡弁に親しみませんか？

【日時】10月29日(日)14時～15時45分
【場所】プラザおでって(中ノ橋通一)
【定員】150人
【費用】前売り700円、当日1000円。中学生以下無料。
前売り券は10月1日(日)10時から、プラザおでって2階の観光
文化情報プラザで販売
【問】プラザおでって ☎604-3300
【広報 I D】1020806



「グリーンとでっかく、肩(かた)っこ
やわけぐ」など、もりおか弁と一緒に
ラジオ体操！

寄り添う介護

～もし自分や大切な人が**認知症**になったら～

家族

の立場から 小笠原寿子^{としこ}さん(73)＝松園＝

否定しないことの本当の意味を考える

約20年前に夫が若年性認知症を発症。介護を始めたばかり
のころ、夫は「北海道に行きたい」と繰り返すようになり
ました。認知症への対応として「否定はしない」ということ
を聞いていたので、行けない理由をつけてごまかしてしま
したが、夫はイライラして家の壁に体当たりを繰り返すよう
に。そんな毎日に疲れて私がつめ息をつく、それに気付いた夫
は「私が悪いんですか？」と悲しそうに声を掛けてくること
もありました。夫も自分が病気だということは分かっている
苦しんでいたんですね。

そんな時、ケアマネジャーから「(北海道に)行こうって
言ってみては」というアドバイスをを受け実行しました。実際
には夫の話を聞きながらドライブに出掛けるだけ。近くの親
戚の家に着いたところで、夫に「ここは北海道じゃなかった
みたい」と伝えると、全く気にしていない様子で訪問先での
もてなしを喜んでいました。それを繰り返すうちに、「北海
道に行きたい」とは言わなくなりました。話を否定しないとい
うことは、相手の話を受け止め、寄り添うことだと気付き
ました。

ひとりじゃないと思える場所を見つける

デイサービスに通っていた第二のわが家(黒石野一)で、
平成20年に介護者の家族の会を設立すると聞き、自分の経験
が介護に悩んでいる人の助けになるのであればと考え、介護
者家族の会「いちご会」の世話人に加わりました。参加者の
皆さんと話して分かったのは、辛いのは自分だけではないとい
うことと、介護の状況は人それぞれで正解はないのだとい
うこと。正解がないからこそ、いちご会では情報交換を大事
にしています。他の人と話すことで気が楽になることも。私も
他の人から聞いた対応方法を試し、それが上手いきき、夫が
笑ってくれることがうれしい！ 夫の笑顔が一番の励みです。



いちご会の皆さん(右から4人目が小笠原さん)

大切な思い出が少しずつ消え、今までできたことができなくな
っていく認知症。認知症の人の不安や悲しみは計り知れません。国の
調査では、高齢者の4人に1人が認知症やその疑いがあるといわれ
ています。高齢化率が25.5%(平成29年4月1日現在)の盛岡市
でも、認知症はとても身近な問題。実際に介護している家族やそれ
を支える人へのインタビューを通して、「寄り添う介護」について
考えます。【問】長寿社会課 ☎613-8144

専門職

第二のわが家^{じふのわがや}の立場から 職員 西館淳也^{にしんや}さん(40)

認知症の人への支援とその家族の支援は両輪です。私たち
が家族を支援することにより、無理のない介護を続ける余裕
が持てれば、認知症を患った本人にもっと寄り添えるよう
になります。身近なところに情報交換や相談できる場所が
必要だと思いますし、その場所を絶やさないよう続けていく
ことが大切です。

地域

の立場から

認知症カフェとは？

認知症の人やその家族、認知症に関心がある人な
ど、さまざまな人が気軽に交流を楽しめる場所です。
カフェでは、参加者が自身の経験を語ったり、
情報交換を通して認知症に向き合っています。



表 認知症カフェ一覧

名称	開催場所	問い合わせ先
おはなカフェ	特別養護老人ホームサンタウン松園(北松園四) ☎681-7533	
思いやりカフェ	桜城老人福祉センター (大通三)	もりおか認知症サポーターズ もりもり会事務局 メールアドレス morioka. ninchishou@gmail.com
いちご会	第二のわが家「黒石野」デイサービスセンター(黒石野一) ☎665-2660	
カフェ・ド・みたけ	デイサービス きさいや (みたけ六)	代表 野中さん ☎641-7580
カフェ～結(ゆい)～	介護老人保健施設康楽苑(手代森9) ☎696-5811	
ケアラズ寺町カフェ	専立寺(名須川町)	仁王ケアセンターすみれ ☎652-2518
ひまわりのカフェ	総合福祉センター(若園町)	代表 久喜さん ☎090-7799-0941

※長寿社会課で、各認知症カフェの開催日時などを掲載したチラシを配布しています

カフェ・ド・みたけ

野中晋^{しん}さん(65)＝みたけ六＝

自分の住む地域に認知症の家族を
介護している人がいると聞いて「何
かできることがあれば」という思い
で平成28年に認知症カフェを立ち上げました。地域の人た
まに差し入れをしてくれたりとアットホームな雰囲気のカ
フェです。子育てをしながら介護をしている人でも参加しやす
いよう午前中からオープン。子ども連れも大歓迎です。誰
でも気軽に参加してください。



私たちも寄り添うパートナーになろう！

認知症になったとしても、家族
や近所の人、通い慣れた店で優し
く見守り声を掛けてもらえること
で、これまでと同じような生活を
続けることができます。認知症に
ついて正しく知り、寄り添える社
会を目指しましょう。

■認知症講演会

【日時】10月23日(月)13時半～16時
【場所】プラザおでって(中ノ橋通一)
【内容】「認知症の理解と予防のポイント」
と題した講演と認知症予防体操
【定員】150人
【費用】無料。当日会場どうぞ

■認知症サポーター養成講座

【日時】①10月24日(火)14時～15時半
②11月16日(木)13時半～15時
【場所】①松園地区公民館(東松園二)
②高松地区保健センター(上田字毛無森)
【内容】認知症の基礎知識や接し方などを学ぶ
【費用】無料。当日会場どうぞ



市内にはすでに1万5000人の
認知症サポーターが！

企業や学校、町内会
などへ出向く出前講
座も実施しています